

地方大学・地域産業創生交付金（函館市）〈計画期間：R4年度～R13年度（R8まで国費支援）〉 （魚介藻類養殖を核とした持続可能な水産・海洋都市の構築 ～地域カーボンニュートラルに貢献する水産養殖の確立に向けて～）

概要

- 日本初となる「キングサーモン」と「コンブ」完全養殖生産を合わせて行うことで、地域カーボンニュートラル（RCN）養殖の確立を目指す。さらに、一次産業の付加価値向上を担う人材の育成とブランド化を進めることにより、持続可能な水産・海洋都市構築を目指す。
- 北海道大学では、キングサーモンの種苗生産・餌料開発やコンブの完全養殖技術確立などに取り組むとともに、水産学部に「地域水産産業共創センター」を設置し、地域や企業等の産業ニーズと研究者が行う研究シーズのマッチングを推進。
- 養殖に留まらず、関係機関と協力して、養殖物の加工技術の向上や販路開拓も推進。



キングサーモン採卵



コンブ種苗育成試験

活動内容

（プロジェクトの狙い）

- 海洋環境の変化に伴い主力水産物の漁獲量が激減し、高収益かつ安定供給可能な水産物の創出が急務。
- そこで地の利（寒冷環境、北海道大学水産学部・工業技術センター等の存在）を活かしたキングサーモンとコンブの完全養殖生産をRCNにて推進し、地域で養殖産業群を形成するとともに、その現場での教育研究により企業と若者を集め地域に定着させることで、持続可能な水産・海洋都市を実現。

※ プログラムの一例

（具体的取組）

- 大学
 - RCN養殖に必要な人材の育成を目的とした「GREEN人材育成プログラム※」を企画。R7年度から本格実施。
 - 魚類養殖産業の先進地であるノルウェー・ベルゲン大学と連携するなどし、トップ人材3名の招聘と北海道大学教職員4名を派遣。
 - 天然キングサーモンから採卵・採精を行い、人工授精により日本初となるオリジナル種苗を作出し（R4）、オリジナル種苗での中間育成試験にも成功（R5）。
 - また、オリジナル種苗による漁港内での海面養殖試験を実施し（R6）、初水揚げに成功（R7）。
 - 天然コンブ及び養殖コンブを人為的に成熟させ、早期に種苗を生産する「成熟誘導」に成功（R4）。
 - また、海面養殖試験において、成熟誘導により作出した種苗の成長を確認中（R5～R7）。
- 産業
 - 函館地域産業振興財団が、コンブの乾燥条件・加工特性・機能性等に関するデータを取得・分析することで、コンブ加工利用技術開発を推進し、ローカーボン・高品質化・多様な製品化を目指す。
 - 函館真昆布のポータルサイト開設等によるPR活動、販路拡大に向けたマーケティング活動、企業訪問などを実施。
 - キングサーモン完全養殖の出口を見据えたサケマス類の市場調査などを実施。



コンブ採取体験研修



起業専門家を交えたワークショップ

事業責任者：嵯峨 直恆（（一財）函館国際水産・海洋都市推進機構）

主な参画機関：函館市、北海道大学、（公財）函館地域産業振興財団、（一財）函館国際水産・海洋都市推進機構
函館商工会議所、函館市内漁業協同組合長連絡協議会

<令和6年7月時点>